

木町仮設住宅たより4月号

東日本大震災から一年が過ぎました。先日の3月11日は皆さんがそれぞれ複雑な気持ちでこの日を迎えられた事とおもいます。瓦礫の山もだいぶ少なくなり、仮設の商店や飲食店も数多く出来てきました。失望の一年前から今、復興に向け前向きに生きている人々をみて、一日でも早くあの慣れ親しんだ町並みが戻ってくることを祈るばかりです。

談話室では、支援員の■■■■の季節感あふれる押し花が展示してあります。是非談話室に来てご覧になってください。お待ちしております。



日中も比較的暖かくなり過ごしやすくなった気がします。間もなく木町仮設前の桜も咲くでしょう！その前に・・・支援員菊池の自宅にある乙女椿の写真で一足早い春を楽しんで下さい。



3月28日の「まごころカフェ」のスタッフ写真です。右下の北村さんはこの度大船渡の担当になったそうです。前列の女の子二人は、兵庫から来た女子高生。春休みを利用してボランティアに来てくれました。お父さんが自衛隊で災害がある度に国内外に派遣され家を留守にする事が多かったと話していました。小さい頃は淋しい想いもしたようです。が・・・彼女がこうして来てくれたのは、親の背中をみていたんですね。話を聞いていてとても心が温くなりました。